

科目名	歴史学	英語科目名	Historical Studies	
開講年度・学期	平成28年度通年	対象学科・専攻・学年	4年 M・C科	
授業形態	講義	必修 or 選択	必修	
単位数	2単位	単位種類	履修単位	
担当教員	山田康弘（非常勤講師）	居室（もしくは所属）	管理棟3階（連絡教員：酒入）	
電話	内線173（連絡教員）	E-mail	ysakairi@小山高専のドメイン	
授業の到達目標	授業の到達目標との対応			
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標（JABEE）	JABEE 基準	
	1. 歴史を学ぶとは単に「過去を学ぶ」ということではなく、「過去を通じて現代を学ぶ」ということであることを評価できる。	①	D	ab
	2. 日本の歴史と世界の歴史を関連づけて、多角的・グローバルな視点から熟考できる。	①	D	ab
3. 単に歴史上の諸事件を「知る」だけではなく、自分なりに「考える」ことができる。	①	D	ab	
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法				
到達目標1-3：中間試験・期末試験と毎回行う小テストにおいて60%以上の成績で評価する。				
評価方法				
評価は下記3項目の加重平均によって行う。				
1. 中間試験・定期試験の成績（60%）。 単なる「暗記」ではなく、どの程度自分なりに「考えたか」を重視して評価する。				
2. 小テストの成績（40%）。毎回の講義の内容について、どの程度理解したかを検査する。				
授業内容		授業内容		
1. 戦国の「いくさ」はどんなだった？（戦国①）	16. 文明の進歩は人を幸せにするのか？（大正）	2. 大名は何のために「いくさ」をしたのか？（戦国②）	17. 南京事件とは何か？（昭和①）	
3. 一年中、戦いたい大名はどうしたのか？（戦国③）	18. なぜ太平洋戦争は起きたのか？（昭和②）	4. キリスト教はなぜ伝わったのか？（戦国④）	19. 日本は太平洋戦争をどう戦ったのか？（昭和③）	
5. 戦国の人たちは何を考えていたのか？（戦国⑤）	20. 日本はなぜ敗北したのか？（昭和④）	6. 本当の信長はどんな人であった？（戦国⑥）	21. 原爆投下は防げなかったのか？（昭和⑤）	
7. 信長はなぜ死んだのか？（戦国⑦）	22. 日本の産業はどうやって復活したのか？（昭和⑥）	8. 前期中間試験	23. 後期中間試験	
9. 終身雇用はなぜ生まれた？（江戸①）	24. 日本はなぜアメリカに差をつけられた？（昭和⑦）	10. なぜ「バカ殿」でもよかったのか？（江戸②）	25. 「電卓戦争」とは何か？（昭和⑧）	
11. 「暴君」が出たらどうしたの？（江戸③）	26. 「液晶のシャープ」はなぜ生まれた？（昭和⑨）	12. キリスト教はどうやって復活したのか？（江戸④）	27. なぜバブルになったのか？（昭和⑩）	
13. 明治時代の日本人はなにを恐れたのか？（明治①）	28. デジカメはなぜ生まれたのか？（昭和⑪）	14. 日本はロシアとどう戦った？（前編）（明治②）	29. 平成大不況とは何か？（平成）	
15. 日本はロシアとどう戦った？（後編）（明治③）	30. 最後の補足とまとめ（または中久喜城見学）。			
キーワード	戦国、百姓、ボトムアップ、戦争、電卓、バブル			
教科書	なし（毎回、レジュメを配布する）。			
参考書	講義の際に適宜指示する。			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	歴史（3年）			
現学年の関連科目	文学・哲学			
次年度以降の関連科目	人間と科学Ⅰ・Ⅱ（5年）			
連絡事項				
1. 授業方法は講義を中心とし、時々演習問題や課題を出して解答の提出を求める。				
2. 毎回、授業の最後に、講義の内容について小テスト（6問）をおこなう。				
3. 定期試験は時間を90分とし、ノート・レジュメ等の持ち込みは不可とする。				
シラバス作成年月日	平成28年2月18日作成。			